

授業科目名・形態	介護総合演習Ⅱ	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	工藤久・柴田博・関口麗子・石岡和志	開講期	2年後期	単位数 1

【授業の主題】

介護実習Ⅰの後に行われる演習であり、介護実習Ⅰの振り返りを行う。また、訪問介護や小規模多機能型居宅介護等サービスなど、居宅型サービスや介護の専門性の考察、介護支援技術の確認なども行う。また、次の介護実習Ⅱの実習計画についての事前指導も行う。

【到達目標】

- 1) 居宅型サービスについて理解する。
- 2) 利用者によくみられる疾患を理解する。
- 3) 実習にICFをどのように導入するか考察できるようにする。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護実習Ⅰの振り返り・介護福祉実習の分類、方法（工藤）
- 第2回 介護実習Ⅰの振り返り・実習施設の理解（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設）（石岡）
- 第3回 介護実習Ⅰの振り返り・実習施設の理解（障害児施設・障害者支援施設）（柴田）
- 第4回 介護実習Ⅰの振り返り・居宅型サービスの理解（訪問介護事業所）（関口）
- 第5回 介護実習Ⅰの振り返り・居宅型サービスの理解（小規模多機能型居宅介護等サービス）（石岡）
- 第6回 介護の専門性（工藤）
- 第7回 介護実習前の介護技術の確認（工藤）
- 第8回 利用者に多い疾患について（石岡）
- 第9回 ICFについて（柴田）
- 第10回 実習記録事例演習（関口）
- 第11回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第12回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第13回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第14回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第15回 介護実習Ⅱに関する諸注意事項の確認と実習最終準備作業（担当教員全員）

【授業実施方法】

演習形式で行う。

【授業準備】

介護実習Ⅰで関わった利用者のアセスメント内容を整理しておくこと。

【主な関連する科目】 介護過程、介護の基本、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編『第10巻 介護総合演習・介護実習』（第3版）中央法規出版

【参考文献】

必要時に資料を配付する。

【成績評価方法】

レポート等の提出物 50%、授業内での発表 40%、平常点 10%の総合判定とする。

【学生へのメッセージ】

介護実習Ⅰで関わった利用者のアセスメント内容整理において重要となるICF（国際生活機能分類）の考え方を復習しておいてください。